

第1問太政大臣藤原師長は、法名（戒名）を「妙音院」という「妙音通」の地名の由来のとなっている人であるが、この人はいつの時代の人ですか？

①江戸時代、②室町時代、③鎌倉時代、④平安時代

正解は、④平安時代

- ・藤原師長（もろなが）は、藤原頼長（よりなが）の子。（生 1138 年、没 1192 年）平安時代末期
- ・祖父の忠実（ただざね）の養子となったことで、公卿として出世する。
- ・父頼長が保元の乱を起こしたため、罪人とされ流罪のため、一時京都から追放される。
その後、罪を赦され京都に復帰、後白河法皇（ごしらかわほうおう）の後ろ盾により、1177 年、太政大臣へと出世した。
- ・しかし、平家と対立している側の師長は、治承 3 年の政変の時、平清盛によって地位を解任される。
再び罪人となった師長は、尾張国へ流され井戸田に住み、出家し「理覚（りかく）」と名乗った。
- ・その後、赦され京都へ帰り、55 歳で亡くなった。戒名を妙音院と付けられた。
- ・師長は、政治ではあまり活躍がなかったが、音楽家として名を残している。
箏や琵琶の名手として知られ、井戸田においても琵琶を演奏して暮らしていたという。
- ・瑞穂区師長町・妙音通は、藤原師長にちなんだ町名がつけられている。

※藤原頼長は、父忠実の寵愛により、兄の関白忠通（ただみち）とは対立していた。左大臣に就任している。

頼長は、保元の乱（天皇家の皇位の争いと摂関家の権力争い）で、敗死した。

※公卿（くぎょう）国政を審議・決定する最高の行政官。

※太政大臣（だいじょうだいじん・だじょうだいじん）師長は、太政官という国政の最高機関の中で、最高の位である太政大臣に就いたが、摂政・関白の地位には就けなかった。

第2問 瑞穂第1号古墳は、豊岡小学校の校庭にありますが、どんな形の古墳ですか？

①円墳、②方墳、③前方後円墳、④前方後方墳

正解は、①円墳

第3問 瑞穂区を歩いていなかった街道はどれですか？

①鎌倉街道、②塩付街道、③飯田街道、④東海道

正解は、③飯田街道



第4問 正及神社（田辺通2丁目）の祭神は誰が祀られていますか？

①織田信長、②豊臣秀吉、③徳川家康、④前田利家

正解は、③徳川家康

『毎年、日光東照宮へ参拝していた尾張藩士鍵谷伝衛門は、6代尾張藩主徳川継友から、尾張藩内に新宮の勧進を命じられた。伝衛門は同士と相談し風光明媚な八事丘陵の地を選び社殿を創建した。』



第5問 観音寺（丸根町2丁目）について書かれているものは、どれですか？

- ①お百度で、大観音（高さ約8 m）足元で真言「オン マカ キャロニキャ ソワカ」と唱える。
- ②寺の井戸水が、源頼朝誕生の産湯に使ったという伝説があり、明治6年第二十四番小学井出学校（瑞穂小学校の前身）が置かれた。
- ③織田信長の弟信照が住んでいた中根南城の一部で、明治6年第十七番小学正厘学校（弥富小学校の前身）が置かれた。
- ④尾張最古の石地蔵があり、明治9年瑞穂村が誕生したとき、第二十四番小学井出学校は、瑞穂学校と名前が変わりこの寺に置かれた。

正解は、③

①は、亀城町の「瑞穂山金龍寺」

②は、井戸田町の「亀井山龍泉寺」

④は、大喜町の「増益山大喜寺」

